

施策評価シート

評価年度	平成28年度	事業実施年度	平成27年度	施策主管次長名	福祉部次長 深谷 真由美
施策番号	56	施策名	生涯健康で安心して暮らし続けられるまち	総合計画掲載頁	56
関係課名	保険年金課、健康推進課、長寿介護課、福祉課、管理課(市民病院)				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	・市民 ・国民健康保険被 保険者	対象指標名	単位	H26実績	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
			① 特定健康診査対象者(国保)	人	8,025	7,948	8,000	8,040	8,080	8,120
			② がん検診対象者	人	36,459	36,459	36,459	36,459	43,500	43,500
			③ 国保被保険者数(年度末)	人	11,005	10,705	10,800	10,900	11,000	11,100
意図	・健康に暮らしてもらう ・安心して暮らしてもらう	成果指標名	① 特定健康診査受診率(国保加入者)							
			② がん検診受診率							
			③ 市民病院健(検)診受診件数							
			④ 国民健康被保険者1人当たり療養諸費(一般+退職)							

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
①	特定健康診査受診率(国保加入者)	%	33.1	37	34.2	39	43	46	50
	指標設定の考え方と把握方法	生活習慣病(動脈硬化症、高血圧、糖尿病、脂質異常症など)の予防の健康管理、病状改善のため健康診査した率は、健康推進課で、特定健診計画は保険年金課で把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
②	がん検診受診率	%	18.7	19.3	20.2	21.4	22.1	17.4	19.5
	指標設定の考え方と把握方法	市民の健康寿命の延伸を図る手段として有効であるとして指標とし、健康推進課で把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
③	市民病院健(検)診受診件数	人	4,868	4,896	4,794	4,865	4,937	5,000	5,075
	指標設定の考え方と把握方法	疾病の早期発見、早期治療のために行う健(検)診の件数。管理課で把握							
指標	成果指標名	単位	H26実績	H27計画	H27実績	H28計画	H29見込	H30見込	H31見込
④	国民健康被保険者1人当たり療養諸費(一般+退職)	千円	233	239	238	242	246	307	307
	指標設定の考え方と把握方法	国民健康保険被保険者(市民)が病気治療のため、市(保険者)が医療費負担した額の伸び。保険年金課で把握							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント				
施策の成果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	日ごろから健康づくりに努め、「自分の健康は自分で守る」という自覚を持ち、進んで健診し、病気予防・療養・治療に専念する。			
	行政	予防のための健康増進の機会、早期発見の健(検)診の普及を図る。また安心して病気予防・療養・治療に専念してもらうため医療費負担をする。			
達成度評価	近隣との比較	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率は、平成26年度の実績において、豊田市37.0%で、比較すると3.9%低い。 がん検診の平成26年度実績は18.7%で、近隣市で最も高い受診率は37.3%で、最も低い受診率は9.8%でした。 平成26年度の国民健康保険被保険者1人当たりの療養諸費は、豊田市232千円、豊明市251千円、日進市223千円、東郷町252千円、みよし市233千円で近隣市の豊田市、日進市より高い。 			
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> 国保の特定健康診査受診率は、平成24年度30.5%、25年度32.2%、26年度33.1%、に対し27年度34.2%と年々上昇している。 がん検診受診率は、平成25年度18.5%、26年度18.7%、27年度20.2%で上昇傾向にある。 市民病院健(検)診受診件数は、24年度4,662件、25年度4,731件、26年度4,868件と増加し、27年度は3年平均より0.8%増加。 国民健康保険被保険者1人当たりの療養諸費は、平成24年度223千円、平成25年度234千円、平成26年度233千円で平成26年度は平成25年より微減となっているものの、全体に増加傾向にある。 			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診率は、愛知県内38市の平均に比べ低く、病気の早期発見となる健(検)診受診率向上対策が必要である。また、国民健康保険被保険者の療養諸費は、毎年増加傾向にあり、医療費の抑制が課題となる。 健(検)診に必要な医療機器が更新時期を迎え、経費の増大が懸念される。 				
今後の取り組みの方向性および次年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 病気の早期発見・早期治療・生活習慣病予防のため、市民への周知及び商工団体等へ受診勧奨を行う等、健(検)診の受診率向上に向けた対策を推進する。 病気の発症や重症化予防およびがん等の早期発見・早期治療など健診への意識を高めることを目的に受診率向上キャンペーンを行う。ジェネリック医薬品の促進PRと医療費の本人負担の軽減、医療助成、医療保険制度の維持に努める。 市民病院の医療機器更新を計画的に実施する。病院に院内保育所を設置し、医師・看護師等医療職の育児を支援することにより、医療職の確保を図る。 市民が日常的に介護を必要とすることなく自立した生活を送ることができるよう、介護予防及び日常生活支援施策を推進する。 <p>(29年度の取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健診結果や生活習慣を参考に体力チェックを行い、個人にあった運動プログラムを作成し健康づくりを支援する健康度評価事業を計画 市民病院院内保育所の年度内の開所に向け、施設の建設及び運営体制の整備を推進する。 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、最も身近な相談窓口となる地域包括支援センターを1カ所から3カ所に増設する。 				
市民意識	重要度	高い	満足度	高い	平成27年度市民アンケート調査による